

3月に入り、放課後まなび教室も今年度の締めくくりの時期となってまいりました。

実行委員会、スタッフの皆様には、学校の取組の支援とともに、放課後まなび教室の運営に御協力いただき、本当にありがとうございました。

閉講式、スタッフ会議での振り返り、来年度に向けての準備など、慌ただしい中ではありますが、皆様の取組の参考となる情報発信に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

「一年間ありがとうございました。」笑顔あふれる閉講式

二の丸北小学校（伏見区）

向島二の丸小学校との統合のため、今年度末をもって31年の歴史に幕を閉じる二の丸北小学校。同校の放課後まなび教室（ポプラ教室）の閉講式が3月2日に行われました。子どもたちは一人一人、日頃温かく見守り指導してくださった地域のスタッフの方々に感謝のことばを述べ、思い思いに談笑したり、握手したりして一年間を振り返っていました。

また、来年度の統合後の放課後まなび教室の開設準備に向け、両校のスタッフ、教職員が集まり、「子どもたちにとって、どのような放課後まなび教室にしていくのが最も望ましいか」など、熱心な議論が続いています。



↑ 照れながらも、しっかりと感謝のことばを述べる児童
思い出話に自然と笑顔があふれる児童とスタッフ →



閉講式後のほっこりとした雰囲気の中、放課後まなび教室での今年度最後の学習に励む児童

桂川小学校「まなびの詩」

「たのしいな。たのしいな。まなびってたのしいな。…」

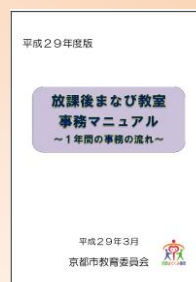
桂川小学校（西京区）の放課後まなび教室前には、児童が作詩し、模造紙に書いた「まなびの詩」が掲示されています。ほのぼのとした和やかな空間のもとで、子どもたちが楽しく活動している様子が伝わってきます。



29 年度版 様式集CDを発行

会計事務や事業実施のための手引きを更新し、「様式集CD」に収録して、各教室に配布します。

手続き、様式に大きな変更はありませんが、少しでも見やすくなるよう改訂しました。
(3月中旬配布)



放課後まなび教室実践事例集（平成 29 年 3 月版）を発行

「他の教室の取組事例をもっと知りたい」「ちょっとした疑問を扱うヒント集があれば」など、多くのスタッフの皆様方の要望にお応えするため、本市 10 年間の取組実績や運営の参考となる資料をまとめた「実践事例集」を発行します。3月下旬に、学校を通じて各教室に配布しますので、是非ご活用ください。

主な掲載内容

○ 放課後まなび教室 Q & A

- ・ 子どもへの対応編
- ・ 保護者・地域・学校・児童館との連携編

○ 放課後まなび教室実践事例

- ・ 教室入室から退室までの工夫
- ・ 宿題終了後の楽しく活動する工夫
- ・ 自学自習の習慣化を培う活動の工夫
- ・ 長期休業期間中等の活動の工夫
- ・ 開講式、スタッフ会議の工夫
- ・ 児童館、学童クラブ等との連携

○ 参考資料

- ・ 教育委員会発行の教材紹介ほか

創意工夫あふれる実践事例を
写真付きでわかりやすく紹介

3月下旬発行・配布

(2) 宿題終了後の子どもたちが楽しく活動する工夫

● H地域の事例

① 写し絵や折り紙を使った活動について

- ・ 子どもたちが自分の興味に沿って活動内容を考えていけるように、宿題をする時一人一人が自分の児童椅子を使用しますが、教室内に長机を設置することで、子どもたちが互いに顔を合わせながら活動することが可能になります。
- ・ 写し絵に使う透明シートや蛍光ペン・油性ペンなどを準備しておくことも効果的です。また、見本となる折り紙の完成品や手順を示したものを、前もって作成しておくことで、子どもたちが見通しを持って活動することができます。



〔活動場所の確保〕



〔活動内容・資料の提供、支援の方法〕



宿題等の学習が終わった児童が、その後の時間を楽しく過ごせるように、以下の工夫を行っています。

＜ポイント＞

- ① 手先を使った体験活動を年に数回企画して、全児童が取り組んでいます。
- ② 知的玩具を何種類か用意して、児童が友達と一緒に取り組んでいます。

ポイント①



NPO法人「木育フォーラム」に出前授業をしてもらい、環境にとって木の果たす役割が大きいことを学習しました。その後、木を使ったアクセサリー作りを行いました。

＜1校＞



牛乳パックで作った型を使って、冬に暖かい「マフラー」作りにチャレンジしました。1年生も頑張りました。

＜1校＞



4月から「子ども若者はぐくみ局」が担当します

京都市では、子どもや青少年等に関する施策を融合し、子育て支援施策を一元化することなどを目的に、29年4月に「子ども若者はぐくみ局」を設置します。

「放課後まなび教室」は、「学童クラブ事業」と同様、共働き世帯等の増加により、登録者数が増加し、事業に対する期待が年々高まっています。そのような中、放課後事業の連携を図り、地域全体で子どもの成長を支える取組として一層充実させるため、その事務を同局に移管します。

移管後も、教育委員会との連携のもと、引き続き「放課後まなび教室コーディネーター」が皆様の活動をしっかりとサポートし、京都市として全力で支援してまいります。

詳しくは、2月9日付けで各実行委員会あてに発信しましたお知らせ「放課後まなび教室事業の子ども若者はぐくみ局への移管について」をご覧ください。



編集後記

日々の皆様の実践は全市共通の財産です。子ども若者はぐくみ局に事務が移管しますが、今後も多くの教室に取材に行き、情報発信していきます。ご意見など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会 生涯学習部放課後まなび教室担当 TEL:254-5015
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549(元生祥小学校内)

